

一寸一石

— 田は深く耕せ —

教育学部長 那須俊夫

新入生の皆さん、入学おめでとう。これまでの努力が実り、長い歴史と古い伝統をもつ本学部に入學されましたことを心からお祝い申し上げます。

わが教育学部は、学校教育のみならず広く生活・文化を包含した、人間と人間の教育を総合的に研究する学部であります。今日の科学技術の進歩と経済の発展は、物質的な豊かさを生むとともに、情報化、国際化、価値観の多様化など社会の各方面に大きな変化をもたらすに至っています。しかも、これらの変化は今後ますます拡大し、加速化することが予想されます。このように複雑化する社会の中で生きていく人間の考究には、幅広い学問・研究を必要とします。教育学科、心理学科、教科教育学科および日本語教育学科において、皆さんと、このような学問分野の一つとの出会いが、今日から始まります。中には、過去からの大いなる蓄積をもつ学科もありますし、他方、これから蓄積しようという学科もあります。いずれにせよ、各学科に共通する因数は、直接的に人間を対象とする学問・研究の場であるということです。教育学部への入学に際して、このことをはっきり銘記しておいていただきたいと思います。

これから、4年間の大学生活が始まります。人によっては、さらに進學して2年ないし5年間の大学院での研究生生活を送るかも知りません。その出発にあたり、これから出会いの始まる学問に接する基本姿勢として、諸君に「一寸一石」という言葉を贈りたいと思います。

「一寸一石」ということは、農業にたずさわる人なら誰でも知っている、いや、知って

いたことです。田を耕すとき、一寸（約3cm）だけ深く耕せば、一反（約10アール）の田からとれるお米の量は一石（約180リットル）多くなるという意味です。通常、一反からの米の収穫は3石くらいのものです。現在では、耕うん機で田を耕しますが、昔はくわしかありませんでした。土の表面を掘るのは簡単ですが、土を深く掘るのは大変な重労働です。手はマメだらけになります。しかし、土の養分は深い所に貯えられているので、深く掘り返さないと良い田にはならないのです。毎年毎年、苗を植える前の田作りには、これを繰返すのが昔の農作業の基本であったのです。そのとき、労をいとわず、くわくわ、深く耕せば、必ず報われるという自戒の言葉が「一寸一石」であります。

皆さんがこれからトラバースするでありましょう広大な学問に接する心構えも、かくの如くであってほしいと思います。「何だろうか」、「なぜだろうか」と疑い、自覚的事実としてとらえ、より原理的なものに向かって反省的に思考を深めていくことが学問の場を深く耕すということです。こうして、より根源的な事実を貯え、体系化していくと驚くほど広範な応用をもつ学問体系が出来上がるのです。今日の文化は、このような学問体系のもつ多様な生産力に由来するのです。皆さんは、このような学問の価値とその意味、構成や構成の仕組みを学んで下さい。それは将来に生きる皆さんにとって、必ずや、実り豊かな作物を育てる良き土壌となることでしょう。あらためて、入学おめでとう。われわれ教育学部のスタッフ一同は皆さんを心から歓迎します。